

NO. 319 『光陰如箭』 こういん じょぜん

< 意味 > 月日の流れが早いことのたとえ。月日は矢のようにあっという間に早く過ぎてしまう意から。一般に「光陰^や箭の如し」と訓読する。

出典：『禪門諸祖偈頌^{しよそげしやう}』

語釈：「光陰」は昼と夜、また、日と月。転じて、年月・時間の意。「箭」は矢の意。

一言：2025年も早いもので、あと少しで3月・桜の季節になって行きます。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」